

## 平成26年度学校経営診断の実施結果について（特別支援学校）

東京都教育委員会は、平成26年4月に定めた「平成26年度学校経営診断実施要項（特別支援学校）」に基づき、平成25年度の教育活動について、都立学校の学校経営診断を実施し、「平成26年度学校経営診断の実施結果」として取りまとめた。

### 1 診断の目的

東京都教育委員会は、東京都特別支援教育推進計画第三次実施計画を策定（平成22年11月）し、「すべての学校で実施する特別支援教育の推進」「つながりを大切にした特別支援教育の推進」「自立と社会参加を目指す特別支援教育の推進」の三つの基本的な考え方に基づいて、特別支援教育の充実に努めている。

経営診断の実施は、こうした状況を基にした学校の経営状況を外部委員も含め客観的に把握し、診断結果を次年度以降の学校経営に反映し、改善を促すとともに、学校ごとに行われている特色ある取組を明らかにすることにより、特別支援教育の理念の実現と、保護者等の都民に特別支援学校に対する理解推進を図り、都民の期待に応える学校づくりに資する。

### 2 診断対象校

平成21年度に2校で試行実施し、試行結果を踏まえて、平成22年度から6校で本格実施となり、平成21年度から平成25年度までの診断実施校は25校となっている。平成26年度は、これまで診断を実施していない学校の中から、次の6校を選定した。

- (1) 葛飾特別支援学校（知的障害/高等部/葛飾区）
- (2) 墨東特別支援学校（肢体不自由/小学部・中学部・高等部/江東区）
- (3) 久我山青光学園（視覚障害/幼稚部・小学部・中学部、知的障害/小学部・中学部/世田谷区）
- (4) 大塚ろう学校（聴覚障害/幼稚部・小学部/豊島区）
- (5) 府中けやきの森学園（肢体不自由/小学部・中学部・高等部、知的障害/小学部・中学部・高等部/府中市）
- (6) 清瀬特別支援学校（知的障害/小学部・中学部・高等部/清瀬市）

### 3 診断方法

各学校から提出された学校経営計画や学校経営報告等の書面に基づき、学校経営支援センターが中心となって、さらに専門性と客観性を担保するために、教育庁職員（特別支援教育を専門とする指導主事）と外部有識者を含めた横断的な診断チームを編成して実施した。

学校ごとの特色に応じた診断方針を定め、事前に学校に提示を行った上で、ヒアリング及び授業参観を実施した。

### 4 外部専門委員

学校経営診断には、専門性と客観性を担保するため、外部専門委員を加えている。

- ・ 飯野 順子 委員（NPO法人地域さぼーと研究所 理事長）  
【診断校】 葛飾特別支援学校、墨東特別支援学校、大塚ろう学校、府中けやきの森学園、清瀬特別支援学校
- ・ 小池 敏英 委員（東京学芸大学 教授）  
【診断校】 久我山青光学園、清瀬特別支援学校
- ・ 箕輪 優子 委員（横河電機株式会社 CSR部 CSR課）  
【診断校】 葛飾特別支援学校、墨東特別支援学校、久我山青光学園、大塚ろう学校、府中けやきの森学園

### 5 診断結果の概要

学校が進める様々な教育活動の中で、「組織的な学校運営の取組」、「学習指導」、「生活指導」、「進路指導」、「危機管理」、「地域等との連携」の6項目を設定し、診断を行った。

各学校の状況を踏まえ、個々の学校ごとに指導内容、教職員の取組、組織運営の在り方について、学校経営診断書の中で、取組状況とその成果、課題、改善の方策について助言を行っている。

## 平成25年度学校経営診断を受けての改善状況報告について

平成25年度学校経営診断における指摘の改善状況を把握するため、平成25年度学校経営診断実施校について、改善状況を取りまとめた。

### 1 平成25年度学校経営診断実施校（特別支援学校）

- (1) 江東特別支援学校
- (2) 中央ろう学校
- (3) 高島特別支援学校
- (4) 南大沢学園
- (5) 青峰学園

### 2 報告の方法

平成25年11月に公表した「平成25年度学校経営診断の実施結果」において、診断ポイントごとに課題として挙げられた事柄について、各学校が平成26年8月までの取組状況を報告した。

報告書の構成は次のとおりである。

- (1) 平成25年度学校経営診断を受けての取組状況と成果（平成26年8月時点）
- (2) 校長の課題への所見と今後の取組
- (3) 学校経営支援センターの学校の取組に対する評価と今後の取組